

①今井政之顕彰施設整備について

5月9日の総務文教委員会において、「今井政之顕彰施設整備に向けた取組について」次のような説明がありました。

陶芸、建築、観光地域づくりに関する有識者などを構成員とする今井政之顕彰施設基本構想策定委員会を設置し、これまで3回にわたり会議を開催して、顕彰する施設の基本理念や必要な機能、施設整備候補地等の協議を行ってきた。また、令和6年9月から10月の間、市内芸術文化関係者等からヒアリングを行い、構想を具体化するため、施設全般へのニーズやアイデアを聞き取りした。

今後は、今井政之顕彰施設整備基本計画策定委員会を設置して、令和8年9月の基本計画策定に向け協議を進める。庁内において準備班を設置し、専門知識等を持つ有識者から助言をいただきながら、整備に向けての準備を着実に進めていく。9月以降にサウンディング調査を開始し、令和8年3月末までに意見を取りまとめ、基本計画に反映させる。また、整備に伴う資金を管理する基金を設置することとし、基金条例案を上程したい。

基本構想の「立地の検討」では、施設候補地について①豊山窯周辺②町並み保存地区周辺③竹原市町並み保存センターの3カ所を候補地として評価を行い、また基本構想策定委員会においても審議を行った結果、豊山窯周辺を新施設整備予定地とする。

そこで基本構想の新設整備予定地について質問します。豊山窯周辺は、①国道 185 号に接道して、大型バス等の入構が容易である②今井先生の作陶拠点に隣接しており、瀬戸内の自然豊かな眺望を展示の一環に活用可能③豊山窯と連携した活動プランや展示が可能となり、観光の新拠点として期待できる。と評価されています。

しかし、ハザードについては、土砂災害警戒区域であること、沿岸部に位置し、高潮浸水が想定されることでリスク対策が必要であることが懸念されます。また、公共交通については、バスの増便やシャトルバスの設置なども検討が必要とのこと。大切な今井先生の作品が安全な施設で、より多くの市民、竹原を訪れるすべての観光客に鑑賞していただくための候補地を検討していただきたいと思います。お考えをお聞かせください。

②身寄りのない高齢者支援について

身寄りのない高齢者が増える中、三原市では、急病などで意思表示ができなくなる際に備える「終活情報登録制度」をスタートしたという新聞記事がありました。終活情報登録制度は県内では東広島市でも導入されているようです。

厚生労働省は身寄りのない高齢者への支援を拡充する方針を固め、入院時の身元保証や死亡後の手続きを担う民間サービスは料金が高額なため、利用できない低所得者などを対象とする新たな支援制度を設ける方向のようです。

竹原市の高齢者福祉は他市と比較しても遜色はないと思いますが、一人暮らしの高齢者の方がどのくらいおられるかなどの状況を把握しておられるでしょうか。竹原市のホームページでは一人暮らしの高齢者の方等へのサービスとして、緊急通報システム事業、安心フォルダー登録システム、老人福祉電話、一人暮らし高齢者等巡回相談事業、成年後見制度利用支援事業が挙げられています。今後も増加することが懸念される身寄りのない高齢者に対する支援として、終活情報登録事業などを進められるお考えはないでしょうか。

③二地域居住について

移住定住、関係人口の創出について質問します。竹原市は、ホームページに空き家バンクなどの移住定住支援策一覧をまとめ、また移住定住サポートセンターも設置しています。関係人口創出については、竹原ファンクラブを創設して竹原の魅力を発信し、関係人口創出事業を業務委託しています。現在の移住定住、関係人口創出の状況をどのように捉えておられるでしょうか。

若者・子育て世帯を中心に二地域居住へのニーズが高まっています。二地域居住の促進を通じた広域的地域活性化のための基盤整備をし、地方への人の流れの創出・拡大を図ることが必要として、「広域的地域活性化のための基盤整備に関する法律の一部を改正する法律」が施行されました。法律の概要は、都道府県が二地域居住に係る事項を内容に含む広域的地域活性化基盤整備計画を作成したとき、市町村は二地域居住の促進に関する計画「特定居住促進計画」を作成することが可能とされています。

竹原市は全国二地域居住等官民連携プラットフォーム会員となっており、市内には、保育園留学を受け入れているこども園があり、スタートアップを支援するサテライトオフィスの関係で竹原に滞在される方もいます。広域的地域活性化基盤整備計画の策定を県に提案するなど、積極的に二地域居住を推進すべきと思いますが、お考えをお聞かせください。